

科目区分：自然科学科目

授業科目名	生物の科学（生きること、動くこと）					学期	曜 日	校時
英 語 名	Biological Science (Cell Motility)							
担 当 教 官 名	市川 寿	単位数	2 単位	必修 選択	選択	後期	月曜日	2 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>Life is virtually synonymous with movement: although everything that move is not alive, everything that is alive moves</p> <p>と述べ、生物が動く仕組みを解くことこそが生命を解く鍵だと考えた研究者達がありました。分子レベルでの「動くこと」の研究が明らかにしてきた事実から生物を考えます。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
細胞生物学や生物化学の教科書が学習を進める上で参考になります。形態形成や細胞運動に関する専門書は、さらに詳しく学習を進めるために参考になります。 講義内容の概要、ポイントをまとめたプリントを適宜配布します。								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 官 研 究 室		
全学部	定期試験（ 8 0 % ）およびレポート（ 2 0 % ）							
授 業 計 画								
第 1 回 生物の中の「動き」について 第 2 回 生物の形 第 3 回 発生と分化、形態形成、遺伝子の差次的発現 第 4 回 形態形成の基本型 第 5 回 細胞骨格 第 6 回 筋収縮の研究から 第 7 回 筋収縮の仕組み 収縮蛋白質 第 8 回 筋収縮の仕組み 調節系 第 9 回 筋収縮の仕組み 多様性 第 1 0 回 細胞骨格と細胞運動 第 1 1 回 細胞運動に関わる蛋白質 第 1 2 回 細胞運動の多様性 第 1 3 回 細胞から組織へ 第 1 4 回 生物にとって動くことはどういうことなのだろう 定期試験								
<p>オフィスアワー；質問等、科目についての相談は月～金の午後随時受け付けます （アポイントメントは、ichinon@net.nagasaki-u.ac.jpへどうぞ）</p>								